

平成23年度調査事業 取組例 ～テーマ：産業振興～

山口から“KAN-BUTU（乾物）”を発信
（山口市定住自立圏 中心市：山口市）

【事業概要】

- 産学官民が連携し、地域資源を活用した「乾燥食品（乾物）」の特産品を開発することで、産業振興、地域ブランドの確立、雇用創出を図る取組。

【具体的な取組内容】

- 地元乾燥機メーカーの有する乾燥技術を用いた乾物の開発・販売
- Facebookにおいて、アンテナショップ「山口市役所かんぶつ部」の創設（全国で2例目）
- 乾物に特化した料理教室の開催による、乾物の普及・啓発。

【成果等】

- 新商品を4品開発。モニター販売にて1,500個完売。
- 平成26年度、乾燥食品商品化数は20品目まで拡大。
- 飲食店との連携により新たな商品化も実現（桃と日本酒を混ぜたカクテル・ハモの練り物にエビの乾燥パウダーを混ぜた商品）



すいかとなしのドライフルーツ

地域ブランド化と農商工連携・6次産業化による食産業の育成
（弘前圏域定住自立圏 中心市：弘前市）

【事業概要】

- ももをテーマとした地域ブランド化と農商工連携・6次産業化の促進を両輪で取り組み、地域に資金が循環する食産業モデル事業を実施。

【具体的な取組内容】

- 地域ブランド化に向けた「地域ブランド化検討チーム」の設置。
- パティシエ等と連携した、ももを生かした試作品の開発。
- 圏域事業者の共同による農商工等交流イベントの開催及び大都市圏における展示商談会への出展。

【成果等】

- 試作品の商品化（6品）、メニュー化（2品）の実現。
- もものブランドロゴマークの商標化。
- 圏域におけるアンテナショップの開設（H24）
- ブランド化による栽培面積の増加（H23年度 17.1ha → H25年度 21.4ha）



桃を使ったスイーツ類



イノシシを活用した新たな食文化等の構築
（みのかも定住自立圏 中心市：美濃加茂市）

【事業概要】

- 圏域におけるイノシシを地域の資源として捉え、しし肉を使った食文化を構築し、ジビエ料理又は外国の郷土料理として発展させることで、新たな地域ブランド商品の開発及び雇用創出を図る取組。

【具体的な取組内容】

- 大学、食肉加工会社、飲食店等と連携した特産品開発。
- しし肉を使った創作料理フェア「シシラボ」開催。
- 外国人が多い圏域の特性を生かした多文化共生レストランの設置検証。

【成果等】

- 新メニュー「シシデテ丼」の開発。
- 調査研究を発展させるために設置された有志団体「シシ丸王国」と連携し、しし肉料理イベントを開催。
- 各種外国人団体と連携して、レストラン開設に向けた取組を継続。



「シシデテ丼」

米づくりの独創的実証モデルによる地域農業活性化プロジェクト
（湯沢市定住自立圏 中心市：湯沢市）

【事業概要】

- 自然乾燥米の生産拡大モデルを構築し、地域農業の活性化を図ると共に雇用創出効果のある産業振興の手法を探る取組。

【具体的な取組内容】

- 産官民が連携した「自然乾燥米組織」の体制強化。
- 自然乾燥米づくりの実施及び米づくりに係る収支バランスの検証に基づく経営の安定化。
- 首都圏等におけるマーケティング活動の展開。

【成果等】

- 自然乾燥米づくりに係る持続可能な組織体制の充実・強化。
- プライベートブランド米「郷うらら」を森永乳業と独占契約し、販売中（H25～）
- 生産量、食味向上に向けた栽培技術の向上。（H23年度 18t → H26年度 38t）
（H23年度 3.6ha → H26年度 7.6ha）

プライベートブランド米「郷うらら」



平成24年度調査事業 取組例 ～テーマ：産業振興・文化芸術・地域医療～

地域創富力(文化芸術)

アーティスト定住プロジェクト「引っ越してきたアーティスト！」
八戸圏域定住自立圏 中心市：八戸市

【事業概要】

- ・アーティストが定住し、地域の人を巻き込んで一緒に活動する拠点を造るプロジェクトを実施することで、全国のアーティストや若者が住んでみたい地域としてアピールする定住実験。

【具体的な取組内容】

空家再生プロジェクト(八戸市南郷区)

アーティストと地域の人が協働し、アーティストの活動拠点として空き家を整備

アーティストが定住する地域から、圏域内の町村へも波及的にメリットを生み出す事業を実施

ご近所アーティスト事業

圏域内の小学校で児童全員の記念日を祝う「まちカレ～このまちのカレンダー～」を実施

隣の町のアーティスト事業

アーティストが圏域内の学校へ出かけ、出張ワークショップを実施

【成果等】

- ・平成25年度には、南郷のアートプロジェクトも含む八戸市における文化芸術の取組で文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)を受賞。
- ・今後は、新たなアーティストの定住を誘致するプロジェクトを実施する予定。

地域創富力(地域医療)

「地域医療を支える」基盤整備調査事業
北はりま定住自立圏 中心市：西脇市

【事業概要】

- ・持続可能な医療サービスを確保し、生涯にわたり健康で安心して暮らせる圏域の形成に向け、医療機関や住民など圏域の多様な主体の参画による地域医療の環境基盤を構築・整備。

【具体的な取組内容】

- ・広域連携による地域医療体制の構築に向け、圏域内の医療関係者や住民も参加する「健康づくり推進協議会」を設置し、地域医療に係る問題を圏域で協議。
- ・圏域住民の受診行動の適正化に向け、地域医療住民フォーラム・医療講演会を開催したほか、「西脇小児医療を守る会」の活動を近隣町まで拡大させるなどを実施。



健康づくり推進協議会

【成果等】

- ・休日・夜間の救急患者数について、(平成21年度と比較して)平成24年度は3割程度減少しており、平成25年度も引き続き、減少傾向。
- ・平成25年度以降も同様の取組を継続して実施予定。

地域創富力(産業振興)

農林水産業生産現場のリモートセンシングシステムの構築
都城広域定住自立圏 中心市：都城市

【事業概要】

- ・農林水産業のIT化を推進し、生産性の向上につなげるため、生産現場の気象・環境データを自動で収集するシステムの構築に向けた調査検証。

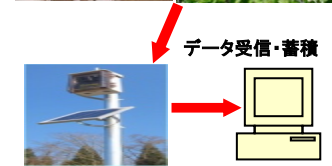
【具体的な取組内容】

- ・産学官で構成する推進会議を中心に、圏域内の茶畑、葡萄畑、ビニールハウス、牛舎4ヶ所において、都城高専で開発された機器を活用したリモートセンシングシステムの実証実験。

【成果等】

- ・平成25年度も引き続き、一部で実証実験を継続。
- ・農林水産業のIT化に向けて、都城高専の地域連携テクノセンター内に設置された農工商連携推進室において、更なる産学官連携によるIT化に向けての取組を推進。

生産現場での温度等のリモートセンシング



生産現場からのデータ送信

生産者の自宅・出先など



地域創富力(文化芸術)

映像資源を活用した地域連携・活性化事業
(庄内南部定住自立圏 中心市：鶴岡市)

【事業概要】

- ・変化に富む四季と地形がもたらす多様な食材産物を持つ鶴岡の食文化と、映画という地域の新たな文化資源を組み合わせることで、地域の魅力を高め、交流人口の拡大や定住促進を図る取組。

【具体的な取組内容】

- ・鶴岡の食文化をテーマとした地域映画の企画を地域内外から公募し、映画化。(応募総数：41件)地元の庄内映画村株式会社に業務委託し、圏域住民もキャストとして起用するなど、地域をあげた映画作りに取り組む。(都内含む7ヶ所で上映。)
- ・映画事業者などと映画・映像を活用したまちづくり研究会を開催し、地方で農業などに取り組みながら映画・映像の勉強ができる仕組みを整えることなどが提言された。

映画「乙女のレシピ」クランクイン会見



【成果等】

- ・平成25年度は「半農半映画」プロジェクトに取り組むなど、映画と既存の地域資源を組み合わせた取組を推進。

平成25年度調査事業 取組例 ～テーマ：分野横断型の取組～

高齢者福祉×子育て×地域づくり×教育 学校を拠点とした地域づくり推進事業 (旧員弁郡定住自立圏 中心市：いなべ市)

【事業概要】

- ・少子高齢化や家族形態の多様化に伴い弱くなった地域のつながりや共生力の再生を目指し、学校を地域コミュニティの交流の場・地域づくりの拠点とした、子育て支援や子育て支援、高齢者福祉に係る取組を推進。

【具体的な取組内容】

- ・学校の家庭科室などを活用して、「男の料理教室」や「紙芝居・読み聞かせ」など5つのイベントを開催。 「男の料理教室」
- ・圏域内の小学校15校、中学校4校において、農業体験など教育活動への支援や登下校の安全確保など、学校を多方面から応援する「いなべ学援隊」を結成。



「いなべ学援隊」による活動風景

【成果等】

- ・学校支援(いなべ学援隊)登録者数 1,541名(H25年度実績)
- ・平成25年度には、石榑小学校(いなべ市)における取組が「第6回未来を強くする子育てプロジェクト」(住友生命)において、文部科学大臣賞・未来大賞を受賞。

自然活用×産業振興 自然・地域・暮らしを活かした観光の産業化推進事業 (薩摩川内市定住自立圏 中心市：薩摩川内市)

【事業概要】

- ・薩摩川内市観光物産協会を中心に地域資源・観光資源を絡めた総合的なプロデュースを行うことで、観光の産業化を図る取組。

【具体的な取組内容】

- ・地域おこし協力隊による旅行商品や物産商品など56商品を開発。(しそサイダー「姫しゅわり」、「タカエビつけあげ」など)
- ・市民ぐるみでシティセールスを推進するため、サポーター制度を創設。平成25年12月現在、4,465人が登録。
- ・首都圏ご当地ラーメンPR販売イベントやANA 総合研究所と連携し、ANAマルシェ(東京3ヶ所)を実施。



ANAマルシェ



首都圏ご当地ラーメンPRイベント

【成果等】

- ・上記協会の観光・物販販売が当初計画を約1.5倍となる450万円を達成し、初年度黒字を実現。
- ・今後は、独自の旅行商品の販売や、台湾や香港などにある企業との商談の実施など販路拡大への取組を進めていく予定。

観光振興×産業振興 マルチハビテーションによる天草地域振興推進調査事業 (天草市定住自立圏 中心市：天草市)

【事業概要】

- ・天草の豊かな自然環境と新鮮で豊富な農林水産物を活用した「天草ブランド」の確立によって、定住促進と天草製品の販路拡大を図る取組。

【具体的な取組内容】

- ・雑誌メディア(徳間書店「食楽」など3雑誌)に特集記事を掲載。
- ・羽田空港内に観光案内ブースを設置し、伝統芸能「牛深ハイヤ踊り」の実演など、初の天草宣伝PRイベントを開催。(200名以上の集客を達成)
- ・首都圏在住者を対象に、天草への定住促進をコンセプトにした、天草お試しロングステイツアーを企画。



雑誌「旅行読売」撮影風景



羽田空港観光ブースイベント

【成果等】

- ・天草ブランドの確立や更なる販路拡大に向け、天草のアンテナ ショップ「あまくさ宝島市場」(横浜市)や銀座熊本館と連携し、ショップ内で地元食材の提供や旅行ツアーの募集を実施。
- ・平成26年度にはホテルで天草大王や魚介類をメインとした天草フェアを開催。

エネルギー自立×新たな地域環境産業の創出 マイクロ水力発電による地域エネルギー自立圏域構築調査事業 (南信州定住自立圏 中心市：飯田市)

【事業概要】

- ・自立性の高い持続可能な圏域を形成するため、地域の特色を活かしたマイクロ水力発電による地域エネルギー自立圏域構築への課題について調査・検証。

【具体的な取組内容】

- ・農業用水路における発電実証等により、汎用性の高いモデルを調査。
- ・安定した取水を行う手法を検討するため、既存の農業用水における取水実証を実施。
- ・地域が主体となって、実地調査、設計、運営、分析等事業に必要なノウハウをまとめ、一括で地域内外の事業者提供できるトータルコーディネートシステムの構築を検討。



マイクロ水力発電現場



小水力発電機
小水力発電機 M9004
プロペラ付き

【成果等】

- ・圏域に豊富に賦存する再生可能エネルギーの活用を推進する一環として、引き続き、住民を主体とする電力発電事業について、圏域内に実現、普及させていく体制を整備すること等について検討を進めていく予定。